

「専門医筆記試験に向けた例題と解説集2015」の問題44（19ページ）に誤記載がありました。以下のように訂正いたします。

誤

44. 卵巣癌の進行期分類(日産婦2014、FIGO2014)について正しいのはどれか。

- a. 膀胱子宮窩腹膜に1.5cmの播種を認めたらⅢB期である。
- b. 骨盤外の腹腔内播種は顕微鏡的に認めないが、傍大動脈リンパ節に20mmの転移を認めたらⅢA1(ii)期である。
- c. 直腸の粘膜に浸潤を認めればⅣ期である。
- d. 卵巣外に病変がなく、腹水の細胞診が陽性であればⅠC3期である。
- e. 手術操作による腫瘍の被膜破綻はⅠC2期とされる。

解答(d)

解説

- a. × 膀胱子宮窩腹膜播種は子宮、卵管、卵巣以外への骨盤内への進展なのでⅡB期。
- b. × ⅢA1(i)期。
- c. × 子宮、卵管、卵巣以外への骨盤内への進展なのでⅡB期。
- d. ○
- e. × 手術操作により腫瘍の被膜破綻はⅠC1期。

正

44. 卵巣癌の進行期分類(日産婦2014、FIGO2014)について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 膀胱子宮窩腹膜に1.5cmの播種を認めたらⅢB期である。
- b. 骨盤外の腹腔内播種は顕微鏡的に認めないが、傍大動脈リンパ節に20mmの転移を認めたらⅢA1(ii)期である。
- c. 直腸の粘膜に浸潤を認めればⅣ期である。
- d. 卵巣外に病変がなく、腹水の細胞診が陽性であればⅠC3期である。
- e. 手術操作による腫瘍の被膜破綻はⅠC2期とされる。

解答(b、d)

解説

- a. × 膀胱子宮窩腹膜播種は子宮、卵管、卵巣以外への骨盤内への進展なのでⅡB期。
- b. ○
- c. × 子宮、卵管、卵巣以外への骨盤内への進展なのでⅡB期。
- d. ○
- e. × 手術操作により腫瘍の被膜破綻はⅠC1期。